学校だより

翔　　空

№３４　平成２３年１２月２６日（月）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空（しょうくう）」の由来　〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚（ふうこうめいび）なこの学舎（まなびや）から、**希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願い**を込めて、翔空の碑ができた。

［みんなで口ずさもう！］

今回も、例により百人一首を二首紹介したいと思います。朝夕の寒さ厳しい季節となりました。いよいよ本格的な冬到来です。冬休み中、お子様の健康管理をぜひ宜しくお願いします。

【白菊がさいている場所に、初霜が降りた様子を見て詠んだ歌】

凡（おおし）　河内（こうちの）　射（み）　恒（つね）　作

心あてに
折らばや折らむ
初霜の
置きまどはせる
白菊の花

（もし折るなら、それと定めて折ってみようか。真っ白な初霜が降りて白菊の花と見分けがつかなくなっているから。）

【冬の朝のこと。作者が吉野に出かけた時、明け方に降り積もった雪を見て詠んだ歌】

坂上（さかのうえの）　是則（これのり）　作

朝ぼらけ
有明の月と
見るまでに
吉野の里に
降れる白雪

（夜がほのかに明るくなる頃、明け方の月の光かと思ってしまうような白い雪が、吉野の里に降り積もっています。）

年も押し迫り、そろそろ大掃除の季節です。親子揃って、世間話をしながら家の中をきれいにしたいですね。

「きっといいことが待っている！」

～強くならねばならないのは大人たちです！～

先日は、久しぶりに家族で（と言っても、両親と妻そして私の大人ばかり）買い物に出かけました。クリスマス前の金曜日だったので人の出も多く、駐車場に困るほどでした。でも、何となくいつものクリスマス前と違うと感じたのは私の思い過ごしでしょうか？

経済や就職状況がとても厳しい時代です。こういう私の一番上の娘も、実は、大卒でありながらいまだ正規の職に就けずふらふらしています。（情けないですねえ）「こんな中、自分の本当にやりたいことはあきらめ、現実との妥協を考えるようになるのもやむを得ないことなのかなあ」などと今考え始めています。

人には才能や能力に差があります。また、残念ながら貧富の違いもあります。ですから、現実としては、自分が恵まれていないと思う人はますます落ち込んでしまいます。遠い記憶となりますが、昨年起きた若い青年が通行人を無差別に刺した茨城の事件もそんな中で自暴自棄になって起こしたものだと思います。

しかし、人には等しく与えられている力があります。**それは、どんなに才能や能力に恵まれていなくとも、お金や地位がなくとも、夢を持ち、それを現実化しようとする努力を続けていく力です。**こんなつらく厳しい時代だからこそ、子どもたちには、その与えられた力を発揮し夢に向かって一歩ずつ歩ませたいものです。大人である私たちは、ぜひ子供たちの陰の力となって応援をし続けなければなりません。ふとある雑誌をめくったら、こんな詩を見つけました。味わってみてください。

青年よ強くなれ
牛のごとく　象のごとく
真に強いとは、一道を生き抜くことである
性格の弱さを悲しむことなかれ
性格の強さ必ずしも誇るに足らず
「念願は人生を決定す　継続は力なり」
真の強さは正しい念願を貫くことにある
怒って腕力をふるうがごときは弱者のすること
悪友の誘惑によって堕落するがごときは
弱者の標本である
青年よ強くなれ　大きくなれ

（住岡　夜晃『讃嘆の詩』から）

今回は、なぜか自分自身を励ますような内容の便りとなってしまいました。保護者の皆様、来年は昇り龍のような良い年になりますようお祈りいたします。ぜひご家族揃ってよい年をお迎えください。